

## ビームラインアシスタントの経験をして

大阪府立大学 先端科学研究所 生体機能科学研究分野  
博士後期課程 3 年 中村 祥浩  
E-mail : [ynakam@biochem.osakafu-u.ac.jp](mailto:ynakam@biochem.osakafu-u.ac.jp)

2001 年の 4 月にビームラインアシスタントとしてお手伝いさせていただきました、中村 祥浩と申します。現在、大阪府立大学大学院 農学生命科学研究科に所属し、研究は先端科学研究所で行っております。私の研究テーマは、「光合成に關与する酵素の結晶構造解析と機能の解明」で、酵素の発現系の構築および精製をし、得た酵素について酵素学的性質の検討と結晶構造解析を行っています。



私がアシスタントとしてお世話になった期間は、一步ホールから外にでますと桜は咲き乱れ、つくしは顔を出し、猫は気持ちよさそうに寝そべっているという春真っ盛りの季節でした。その季節以上に、関係者の皆様は私をあたたかく迎え入れてくださり、私のアシスタント業務に対する不安や緊張をほぐしてくださいました。それまでに私は PF には、共同利用実験で何度かお邪魔してはいましたが、私自身人並みにデータ収集をできるとはいきれないものがありました。しかし、今回のアシスタントとしての滞在中、皆様の温かいご指導を受け、ユーザーの方々の実験を拝見したりアドバイスをいただいたこと、空き時間を利用して測定をさせてもらって、少しは人並みに近づけたかなと感じております。その一つとして、これまでは分解能が約 3.0 までの反射しか得ることが出来なかったものが、今回の測定では 2.5 にまで改善することができました。

また、Galaxy の説明会に参加させていただいたことをはじめとして、鈴木さん、五十嵐さん、松垣さんには私自身の構造解析について相談に乗っていただいたり、さらには SOLVE の使い方までもお教えいただいたりと、言葉では言い尽くせないほどの勉強をさせていただきました。生活面でも食事、特に麺類の好きな私につきあってソバやラーメン屋に何度も連れて行っていただいたりのご親切を受けたことの連続でした。

私でもなんとかビームラインアシスタントを務めることができたのは、このようにあたたかく見守ってくださるスタッフやユーザーの皆様があってこそだと実感しております。3 週間といった短い期間ではありましたが、坂部先生をはじめ、SBSP の皆様、PF の皆様、三菱電機や理学電気の皆様には大変お世話になりありがとうございました。また機会がありましたら是非お手伝いさせていただきたいと思っております。